

平成 27 年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業  
課題対応型学習活性化セミナー 事業報告

I 事業の概要

研修テーマ 「学びを通じた自立・協働型の地域づくりの推進」  
～ 社会が人を育み、人が社会をつくる好循環の構築 ～

- 1 趣 旨 地域住民が、現代課題への関心を高め、その課題解決に向けた主体的な行動を促す学習活動を活性化するために、他機関や団体等との連携・協力を含めた具体的な方策に関わる専門的な知識や技術の習得に関する研修を行う。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
- 3 期 日 平成 27 年 9 月 3 日（木）～ 4 日（金）
- 4 会 場 道民活動センタービル「かでの 2・7」 8 階 820 研修室
- 5 参加対象 市町村及び市町村教育委員会職員、各種審議会委員、社会教育関係団体職員  
生涯学習関連施設職員、民間団体（NPO・企業等）関係者等  
40 名
- 6 参加状況 59 名（社会教育関係職員 15 名、社会教育関係職員以外 44 名）
- 7 日 程

9:10		9:30		9:45		10:00		12:00		13:00		14:30		17:00	
9/3(木) 第 1 日目	受付	開会	趣旨説明	講 演				昼食	パネル ディスカッション		ワークショップ①				
9:10		9:30		12:00		13:00		14:30		14:45					
9/4(金) 第 2 日目	受付	ワークショップ②				昼食	全体会		閉会	解散					

※ 1 日目の「講演（2 単位）」を道民カレッジ連携講座として実施しました。



## 8 活動の概要

### (1) 趣旨説明

【説明】 北海道立生涯学習推進センター職員

【内容】 本セミナーの趣旨及びテーマ設定について説明

〈 テーマについて 〉

「人口減少」を背景に、地域（まち）が持続可能で活力あり続けるための人々のつながりや支え合いの形成、協働して課題に取り組んでいくための方策に関わる知識や技術の習得を目的に開催することを説明した。

### (2) 講演「責任世代のおやじたちが立ち上がった！官民一体の富良野づくり」

【講師】 株式会社北印代表取締役社長

ふらのまちづくり株式会社代表取締役社長

西本伸顕氏

【内容】 富良野市の中心市街地の活性化に取り組んだ講師のまちづくりに懸ける熱い思い、一緒に取り組んだ人と人とのつながり、行政や地域との関わりについて、これまでの経験をお話いただき、まちづくりの視点を学んだ。



講演の様子

### (3) パネルディスカッション「まちづくりに懸けた私たちの思い」

【パネリスト】

陸別町地域おこし協力隊員 秋庭智也氏

芦別市地域おこし協力隊員 渡辺晶子氏

中頓別町地域おこし協力隊員 三浦毅氏

【コーディネーター】

合同会社北海道観光まちづくりセンター

代表社員 宮本英樹氏

【内容】 道内で活躍する3名の地域おこし協力隊員に、故郷ではないまちで、地域おこし協力隊員としてまちづくりに懸ける思いや取組についてご紹介いただいた。また、コーディネーターとのディスカッションでは、まちづくりとは何か、まちの魅力とは何か、住民をどのように巻き込んでいくかなど、まちづくりに対する隊員の思いや考えを聞くことができた。



パネルディスカッションの様子

(4) ワークショップ①②「まちづくりにおけるコミュニティの構築」

【コーディネーター】

合同会社北海道観光まちづくりセンター

代表社員 宮本英樹氏

合同会社北海道観光まちづくりセンター

業務執行社員 草野竹史氏

【内容】 「人口減少」によるまちのメリットやデメリットは何かを協議し、「人口減少」そのものは現象であり、課題ではないことを確認した。また、コミュニティの構築について、理想のコミュニティをイメージし、現実とのギャップで生まれる「課題」について考えた。最後に、講師の経験を参考に、今後のまちづくりについて具体的な取組を考え、参加者間で交流した。



ワークショップの様子

(4) 全体会

【進行】 北海道立生涯学習推進センター職員

【内容】 2日間の学びを振り返るとともに、「ワークショップ」で学んだ手法をもとに、持続可能なまちの理想とそれに対する現状から「課題」を明確にし、どのようなコミュニティを構築するか、住民をどのように参画させるかを考え、最後に全体で交流した。



## Ⅱ 事業の満足度

### 1 本セミナー参加者数 59名

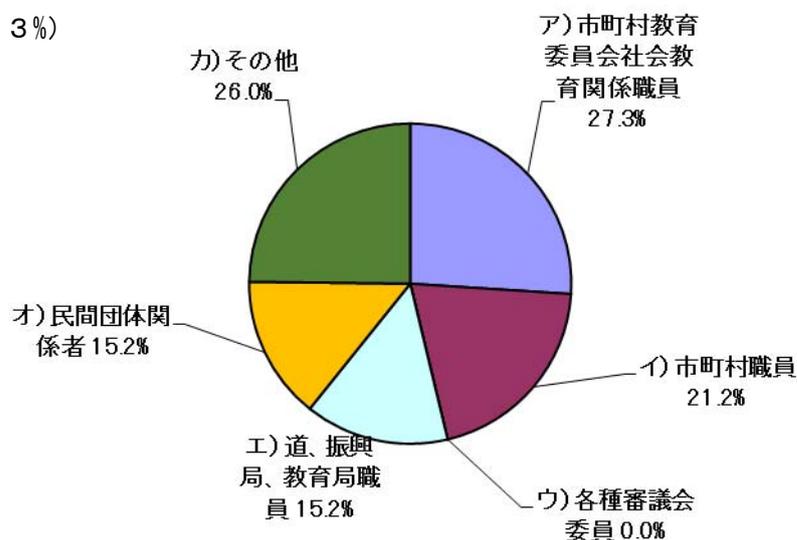
社会教育関係職員の参加者数 15名 (25.4%)

社会教育関係職員以外の参加者数 44名 (74.6%)

### 2 アンケート対象者数 59名

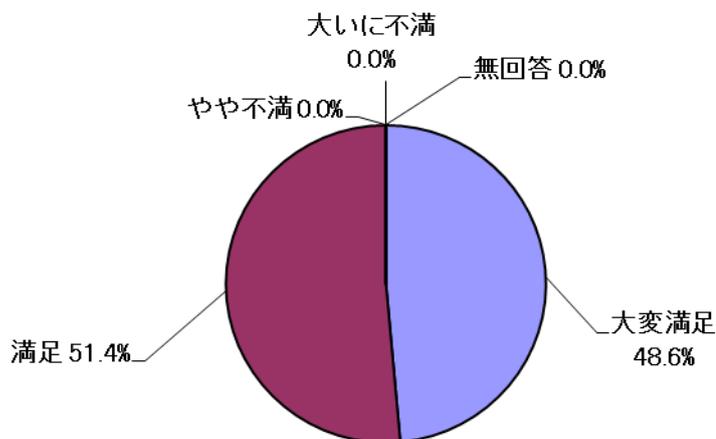
回答者数 35名 (回収率 59.3%)

アンケート回答者(所属)状況



### 3 本セミナー全体をととしての満足度

総合満足度	大変満足・満足 100%
-------	-----------------

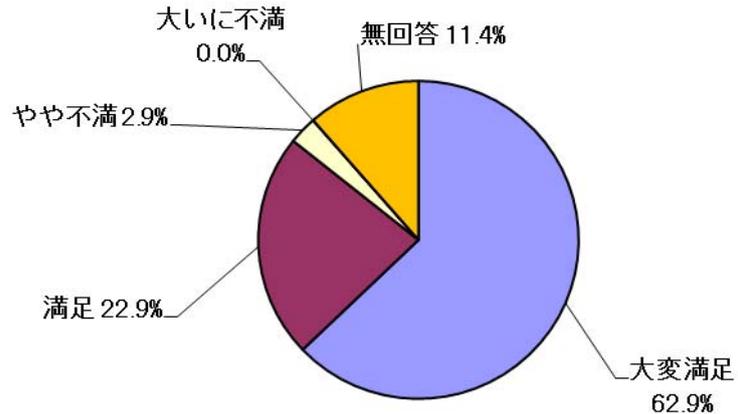


#### 【参加者の主な声】

- 講演内容が大変わかりやすかった。
- 課題解決方法・手法についてヒントを得ることができた。
- 自分のまちづくりにおいて、今後活かせる研修会だったと感じた。
- 自分が自分の事業を「なぜ、やっているのか」を明確に理解していないことに気づけた。
- 今まであまり聴くことのなかった話や体験ができたので良かった。
- じっくり考えをまとめる時間があり、ワークショップでの講師の進め方が良かった。
- テーマがおもしろくためになった。
- 富良野さえもまちづくりに力を入れざるを得ないところに危機感を感じた。
- 社会教育主事講習などで学んだことを再確認できたし、住民目線の話も聞けたので良かった。
- 最後に結論も出たので良かった。
- ワークショップがもう少し踏む込んだ内容の方が良かった。

#### 4 研修プログラムの内容について

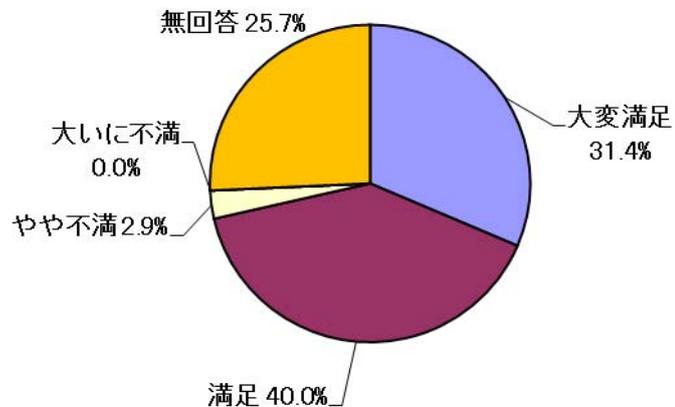
##### (1) 講演「責任世代のおやじたちが立ち上がった！官民一体の富良野づくり」



##### 【参加者の主な声】

- 道の駅はまちを潤さないという言葉が響いた。
- 中心メンバーならではの具体的な手法を伺うことができた。
- 責任世代という自覚の中で具体的に行動している姿に刺激を受けた。
- 様々な地域にそのまま活用できるような具体的な話が多かった。
- 富良野マルシェがどうして生まれ、どのように貢献していったのかがよくわかった。
- 意見を言う人が多い中、熱い思いで行動に移した西本さんに勇気をもらえた。
- 西本氏の情熱に心を打たれた。やっぱり思ったら行動することを再確認した。

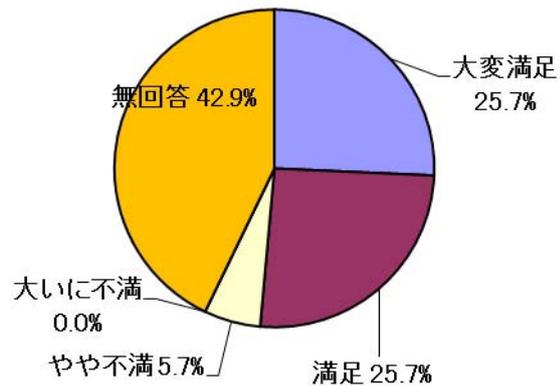
##### (2) パネルディスカッション「まちづくりに懸けた私たちの思い」



##### 【参加者の主な声】

- 協力隊の生の声を聞く機会がなかなかないので良かった。失敗談も聞いてみたかった。
- パネリストの話を引き出しながらの展開で地域づくり、再生の視点が明確になっていた。
- 地域おこし協力隊の活動の幅広さを知れた。
- それぞれの市町の地域おこし協力隊の熱意がとてもよく伝わった。
- ずっとその町村に住み続けるだけがまちづくりではないことに気づいた。
- 協力隊員のがんばりを知ることができた。
- 参加者との意見交換がなかった。
- 協力隊として活動の障害となっていること、苦労していることなどの本音が聞きたかった。
- パネルディスカッションの機能が出ていなかった。

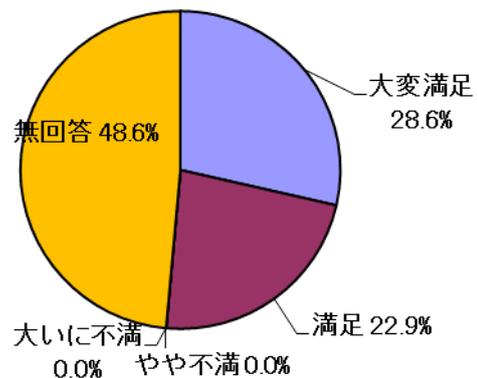
(3) ワークショップ①「まちづくりにおけるコミュニティの構築」



【参加者の主な声】

- 課題解決の様々な手法を知れた。
- 人口減少をキーワードにしたワークショップは新鮮であり、参加者との交流も楽しかった。
- 何が課題なのか、見つめ直す（気づく）手法などが学べた。
- 課題にどう取り組むべきか、また、課題の抽出方法について、今後活かしていきたい。
- メリット、デメリットのあぶり出しで、多くの方々が同じような悩みを持っていることがわかった。
- 自分が問題だと思っていたことが、実は外れた考えだったことに気づかされた。
- 具体的な展開方法、説明等が十分でなく不足を感じた。

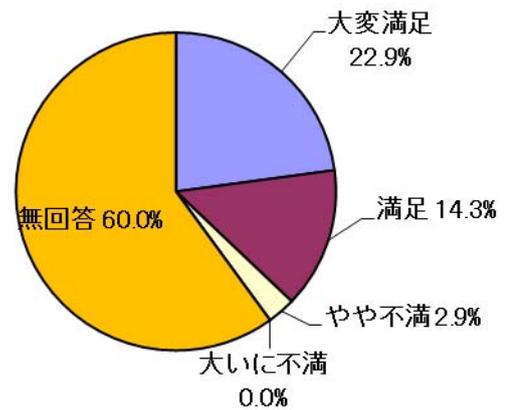
(4) ワークショップ②「まちづくりにおけるコミュニティの構築」



【参加者の主な声】

- コーディネーターの取り組んだ事例などから熱い想い、人柄などに引き込まれた。
- 自分が何をしたいのか、思いは何かを考えることができた。
- 自分が考えていた課題に取り組む価値観の違いを知ることができた。
- 個人ワークで自分で考えていたことが、いかにぼやけたことであったことがわかった。
- 自分を見つめ直すいい機会となった。
- サーキットモデルなど、学んだことを活かしていきたいと思った。
- 具体的な課題への対応ステップと進め方がよくわかった。

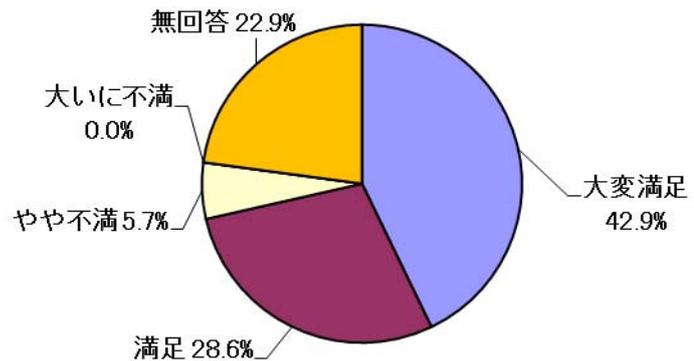
## 5 全体会



### 【参加者の主な声】

- 他の人たちの多様な考え方を知ることができた。
- 持続可能なまちについて、考えを深めることができた。
- いろいろ教わった手法を思い出しながら考えるという場があって良かった。
- 当初は全く思いつかなかった新たな事業を思いつき、地域住民のことをこんなに考えたことはなかった。
- 思いを実現させるための行動を起こさなければと感じた。

## 6 本セミナーの運営について



### 【参加者の主な声】

- 対応が丁寧だった。
- 全体構成が良かった。規模も小さく、居心地が良かった。
- 1日目と2日目のコーディネーターが違うのは新鮮で、違ったアプローチを体験できてとても良かった。

## 7 その他、本セミナーに参加されての感想や気づいた点について

### 【参加者の主な声】

- 自分の思いに気づけて良かった。
- 富良野のまちづくりの講演は、勇気づけられ、真似できる部分は取り入れたいと思った。  
マルシェとして成功している富良野へ近々、自分の目で確かめようと思った。
- 資料のメモスペースが多くて良かったです。たくさん書くことができた。
- まちづくりをする上で、講師やコーディネーターの話はとても参考になった。
- とても勉強になりました。どうもありがとうございました。
- 今後も継続して多様な講座を開催することを希望します。
- 行政側が多いセミナーであるので、住民側の参加ももっとあればいいと思った。

●もう少しグループで話す時間がほしかった。

●室内空調が効きすぎて寒かった。

## 8 今後の当センターの研修事業に対する要望、期待等

### 【参加者の主な声】

○社会の変化に対応したテーマを選択してほしい。

○行政と地域の連携のあり方などを学ぶことができると嬉しい。

○また今回のような「考え方」のワークショップがあれば参加したい。

○まちづくりに活かせる過去の事例を交えた研修などを行ってほしい。

○事業企画者向けセミナーがあると良い。

○初めて利用したので、多くの事業に参加したい。

○視野を広げたり、より具体的な学びが得られる研修があると良い。

○今回のような地域の活性化や人口減少問題に対応した内容や世の中のグローバル化とどう向き合っていくかという内容があると良い。

○ICTを推進するような内容の研修会を行ってほしい。

○自然体験等の体験を通じた学びについての研修を行ってほしい。